



寄居駅の乗降者数は、1日4327人(平成22年)。平成22年度事業として、南口・北口に11人乗りエレベーター(バリアフリー対応)が1基ずつ設置されました。

1 子育て支援の推進

民間保育園2園の老朽化に伴う建て替え工事が行われました。

4 保健・医療の推進

健康診査のほか肺炎球菌ワクチン接種を75歳以上に実施。子宮頸がんの予防接種に取り組みました。

2 人にやさしいまちづくりの推進

寄居駅自由通路、ホームにエレベーターが設置されました。

5 生涯学習の推進

男衾コミュニティセンターは、22年6月にオープン。生涯学習の増進が図られました。

3 教育環境整備の推進

折原小学校体育館の耐震補強が行われ、これですべての小中学校の耐震工事は終了しました。

平成22年度は、「第5次寄居町総合振興計画基本構想」の「前期基本計画」に沿って、5つの最重点施策を掲げ、諸施策・諸事業を推進してきました。
一般会計は、歳入・歳出ともに100億円を超える大型決算となり、実質収支4億4667万円の黒字財政でした。

一般会計は2年連続100億円超規模

寄居町の財政は「健全」です

平成22年度
決算認定

9月定例会は「決算議会」とも言われ、前年度の寄居町でのお金の収支(決算)について審議します。今回は、この平成22年度決算7議案を含め、平成23年度補正予算等合計22議案について審議・審査が行われました。(審議の結果と議員ごとの賛否内訳は19ページを参照)

(8～9ページの「数字で見る町の財政健全度」をぜひご覧ください)

一般会計決算に対する討論



財政指標も良好な値を維持
大平久幸議員

歳出総額で前年度を1.6%上回ったことは、厳しい経済環境のもと、国・県支出金や町債などの財源を最大限活用し、地域の活性化と町民生活の安全・安心の確保に積極的に取り組んだ成果と理解する。また、歳入総額107億円確保も評価でき、各財政指標も、良好な状況を維持している。今後も積極的に施策・事業に取り組んでいただくことを要望する。



安心と豊かさの実感できる
まちづくりを住民パワーで
田母神節子議員

歳入・歳出ともに100億円を超える大型決算(4億4667万円の黒字)と、数字上では健全財政になっているが、実生活では、年々苦しくなるばかりだ。子どもの貧困、商店街等に元気がない、同和問題も終結できない等、町長の決断が問われている。
町行政は常に住民をリードし、住民パワーを引き出す「住民参加型」でこそ安心と豊かさの実感できる。

